

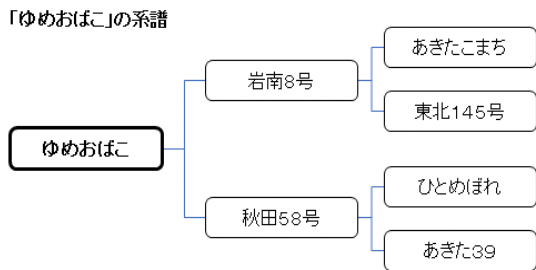
秋田県の話題

「ゆめおぼこ」初めて特Aに



2月27日、一般財団法人「日本穀物検定協会」は2018年産米の「食味ランキンング」を発表しました。同協会の評価員が白飯の外観、香り、味、粘り、硬さ、総合評価の6項目で評価し、過去最多の55銘柄が「基準米より特に良好」とされる最高評価の「特A」となりました。

秋田県産米では、県南の「あきたこまち」が7年連続で特Aとなり、県中央の「ひとめぼれ」と県南の「ゆめおぼこ」が初めて特Aと評価されました。同じ年に県産米の3銘柄が特Aの評価を受けるのは初めて。



「ゆめおぼこ」の系譜は右図の通りで、良い味の系統を継いできたことが分かります。

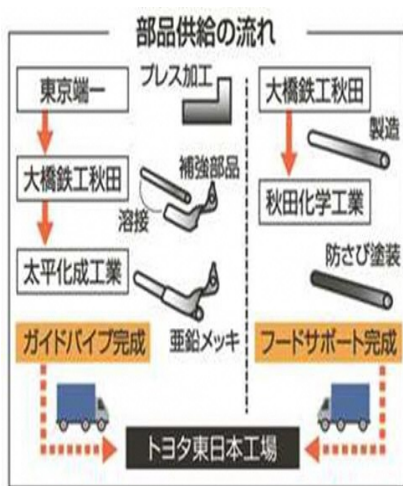
4社連携しトヨタ納品へ 県内供給網構築目指す

- ★「ゆめおぼこ」の特長★
- ・粘りと弾力性があり、粒が大きくきれいな粒立ち。
- ・タンパク質含有量が低いので、炊き上がりふっくら。
- ・冷めても硬くなりにくいので、おむすびやお弁当などにおススメ。
- ・様々なおかずとの相性が良く、特に和食がおススメ。丼物や炊込みご飯など、色々なメニューにピッタリ。

トヨタグループと取引のある大橋鉄工秋田（横手市）を核に、秋田県内に事業所を置く製造業4社が連携してトヨタ自動車東日本（本社宮城県大衡（おおひら）村）に部品供給する取り組みが2019年度に始まる。20年度にも静岡県から宮城、岩手両県にトヨタ東日本の工場が移管されるのを見据え、各社の技術を生かして一貫製造する。県は「県内でのサプライチェーン（部品の調達・供給網）構築につながる一歩。経済効果が期待される」とみている。

大橋鉄工秋田は、横手第2工業団地でトヨタグループ向けに自動車部品を製造している。連携する他の3事業所は東京端一（大仙市、プレス加工）、太平洋成工業（秋田市、表面処理加工）、秋田化学工業（にかほ市、同）。

工程ごとに各工場に部品を送って製造し、早ければ7月に大橋鉄工秋田からトヨタ東日本の宮城、岩手の2工場に納入することが決まっている。



しよつる風味 「空上げ」発売

秋田県男鹿市の航空自衛隊加茂分屯（ぶんとん）基地が考案した鶏の唐揚げ「加茂しよつる空（から）上げ」の販売が、2月から同市内の飲食店などで始まった。関係者は「ご当地グルメとして観光客の増加や地域の活性化につながれば」と期待する。

「加茂しよつる空上げ」は、男鹿産しよつるや県内産日本酒で味付けし、衣にも県内産の米粉を使うのが特徴。しよつる風味で鶏肉の臭みがとれて食べやすく、サクサクした食感が特徴という。



海老名の話題

「加茂しよつる空上げ」は、もとも同分屯基地の給食で月1、2回出される伝統メニュー。基地での味付けをもとにレシピを決め、昨年9月に市や市商工会などと協定を結んで普及への協力を呼びかけてきた。

まず男鹿市内の11店舗で食事や弁当、スーパリーの総菜などとして提供が始まった。

海上自衛隊のカレーなどに並ぶ定番食をと、航空自衛隊が2015年度から全国の基地で取り組んでいる独自の唐揚げを普及させる活動の一環。「空上げ」は「空自全体で上をめざす」意味で名づけられた。志賀一範・同基地司令は「同じ男鹿住民として地域経済の活性化に協力し、地域の人たちに基地の存在をアピールしていきたい」と話している。

（「朝日新聞デジタル」より）

「ごみ袋有料化、戸別収集へ

海老名市議会は昨年11月、本会議を開き、家庭系の有料ごみ袋や戸別収集の導入を盛り込んだ条例改正案について賛成多数で可決した。施行は今年9月30日。

県内で家庭系ごみの有料化を導入しているのは現在、大和、藤沢、鎌倉、逗子の4市。今回の改正条例が施行されれば海老名市は、4市に次ぐ5例目となる見通し。